

学会便り 第127回秋期大会報告

第27回「若手の会」および「若手育成のための合同会合」報告 Meeting report on “the 27th Youth meeting” and “Associated meeting for youth development”

久米 裕二*
Yuji KUME*

1. 若手の会 第27回会合

東京工業大学の大岡山キャンパスで開催された第127回秋期大会の2日目の昼食時間（2014年11月16日、12:00～13:00）に、若手の会第27回会合を開催しました。参加人数は学生、社会人を合わせて35名弱でした。

まず、世話人代表が久米からの西田先生へ交代の連絡がありました。そして、軽金属学会や鉄鋼協会、溶接学会の若手の会と連携して2015年の5月に開催を企画している「若手研究者・技術者講演会～金属材料加工シンポジウム～」についての概略説明と参加を募りました。

次に、千葉工業大学の寺田大将先生より、「巨大ひずみ加工法を用いて作製した超微細粒材料の組織と力学的性質」と題してご講演いただきました。繰返し重ね接合圧延（Accumulative Roll-Bonding: ARB）法を用いて作製した超微細粒の力学特性を中心に、微細化による強度向上はもちろんのこと、熱処理による硬化と、加工による軟化など特異的な現象について説明いただきました。また、超微細粒による高強度化では、均一伸びの低下が問題となりますが、その克服方法として加工硬化率に着目し、超微細粒材に析出物を分散させることにより、加工硬化率を向上させ、強度と伸びを両立させる手法を見出すなど、非常に興味深い内容でした。また、質疑応答においても、アルミニウム箔の生産現場で起きている現象と、超微細粒特有の現象との関連や、不均一伸びについての議論など活発に行われ、有益なものとなりました。

以上のように、大変興味深い話題を提供していただき、活発な質疑を通じてお互いの専門知識や興味を深めることができました。当初企画していた西田先生の留学についての講演やフリートークなどは、世話人の準備不手際で開催できず大変申し訳なく思いましたが、次回を期待頂けたらと思います。

最後に、会場や昼食の準備にご尽力いただきました第127回秋期大会実行委員の皆様、特に東京工業大学の皆様ならびに軽金属学会事務局の皆様がこの場を借り厚く御礼を申し上げます。

2. 若手育成のための合同会合

11月14日（金）の夕方から、大岡山駅周辺で若手育成のための合同会合を開催しました。企業側から5名、大学側から2名参加の計7名で親睦を深めました。お互いに顔を知ったメンバーであったため、若干内輪的な話になりましたが、現在の悩みや趣味、新天地での話など様々な話題で盛り上がり

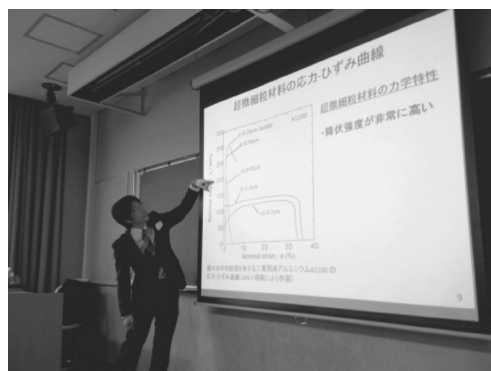


図 寺田先生のご講演の様子（上）、合同会合の参加者記念写真（下）

ました。今回は東京開催であったため、日帰り出張で参加できなかった方もいたと思います。次回の仙台では、前泊入りしていただき、空いた時間に是非ご参加下さい。

最後に、この秋は私も含め、いろいろな方の異動シーズンとなり、驚くことが多々ありました。このような情報交換も若手の会で得た横のつながりのおかげであり、皆様も若手の会を上手にご利用いただけたらと思います。また、若手の会の活動内容に対してのご意見、ご要望などございましたら、下記若手の会メールアドレスまでメールをお送り下さい。些細なことで構いません。皆様の声をお待ちしております。

若手の会メールアドレス：keikinwakate@gmail.com
若手の会世話人 代表 群馬大学 西田進一
三菱アルミニウム(株) 吉野路英
(株)UACJ 安藤 誠
山形大学 久米裕二（文責）

* 山形大学（〒992-8510 山形県米沢市城南4-3-16）
受付日：平成26年11月26日